

「ひらく」とは・・・私たち民主党会派の行動目標である、「開かれた」県議会の実現、そして、秋田の未来を「切り拓く」という想いを込めました。



▲2月定例議会の予算特別委員会・総括審査にて質疑応答

秋田県議会議員

お ば ら ま さ て る

小原 正晃ごあいさつ

皆様のご指導の下、県議会議員として一年が経過しました。この間、秋田にあるものを活かして雇用を作りたい、との思いでひたむきに取り組んで参りました。

そこで実現できたものもあれば、継続中のものもあり、まだまだ努力しなければならないことがたくさんあります。

引き続き課題に対して危機感をもって取り組み、皆様の信頼に応えられる仕事をしていきたいと思っておりますので、様々なご意見やご支援を賜りますことを心からお願い申し上げます。

この一年の主な主張・提案

○仕事と子育てを両立できる環境づくりを。

秋田県の大きな課題である「少子化」。子どもを産み育てやすい環境をつくるためには、子育てを社会全体で支えていく必要があります。

子育て世代には「経済的支援」、さらに子どもがいても安心して働ける「育児と仕事を両立できる環境整備」が喫緊の課題です。子どもの急な発熱があっても預かってもらえる「病児病後児保育の充実」、子育ての先輩お母さんらに子育てを手伝ってもらう「ファミリーサポート事業など」への助成、子育てを応援する企業を応援する「育児休暇取得を推進する企業への助成拡大」など、働きながら子育てできる環境づくりを早急実現すべきだと強く訴えました。



▲木材加工工場を視察

○雪害対策と手厚い果樹被害に対する支援を。

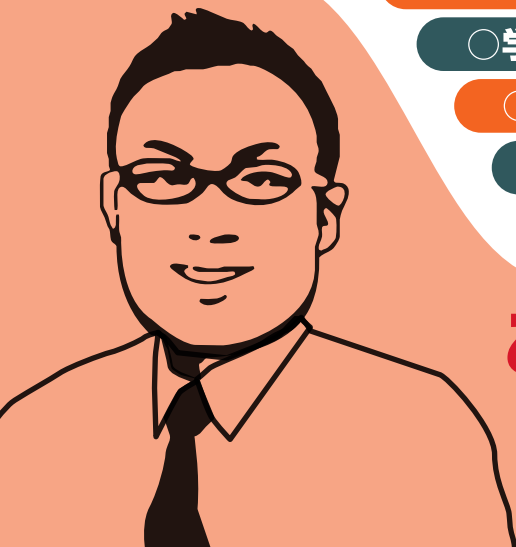
○食品加工で雇用と農産物の高付加価値化を。

○学校給食の地場産品導入率UPを。

○廃校を利用した地域活性化を。

○県外販売の強化と輸送コストの軽減を。

○自動起動型信号の整備を。



ご覧ください! ホームページで日々の活動報告や、裏話「ここだけの話」をどんどん更新しています。

ホームページアドレス <http://www.obaramasateru.jp>



大館市選挙区 虻川 信一

秋田市選挙区 沼谷 純

横手市選挙区 小原 まさてる

新たな民主党会派として出発し、1年が経過しました。

これまで様々な提案をしてきましたが、少数会派ゆえに実現していないことも多く、まだまだ力不足を感じております。

しかし、議員の数は少なくとも、県民の皆様からの応援やご支援があれば、それは大きな力となって、私たちの提案を実現する原動力になると思っています。

民主党会派の今後の活動にも是非ご期待ください。

この一年の歩み

5月 議員報酬25%カット条例案提出

6月 議員賛否の公開を実現

9月 政務調査費に関する第三者機関の設置条例案提出

「本当にいいの？」 毎年問題が起きる政務調査費。民主党会派は、マニュアルの見直しだけでなく、第三者機関によるチェックが必要と考え、条例案を提出。残念ながら、反対多数によりこの条例案は成立しませんでした。

12月 佐竹知事のボーナスUPに反対

「今、なぜアップ!？」 佐竹知事が、自分のボーナスアップを議会に提案しました。民主党会派は、「現在の秋田県の経済・雇用情勢、県民所得などを考えれば、ボーナスアップできる状況ではない」と反対しましたが、民主党会派以外の会派が全て賛成し、成立しました。

2月 観光文化スポーツ部の設置に反対

「協力する立場？」 佐竹知事は「観光や受け入れ態勢の整備は民間の方々やるもので、行政はそれに協力する立場。それをはき違えている」と述べました。そのような受身な姿勢で秋田の観光復興は果たせるはずがなく、民主党会派は設置に反対しました。

